

目的 前報に引き続き、市販洗剤の大部分に配合剤の一種として配合されている蛍光増白剤 (FBA) は染色布、とくに淡色染色布の洗浄において、その染着によって可視部に加わる青-紫の蛍光が染色物の色調に与える微妙な変化を、繊維素材、FBAの種類を種々かえて検討した。

方法 試料染色布については、前回の市販染色布 (綿100%, 1% 65/35 混紡) に加え、キュプラ100%のBlue, Green, Yellow, Pink, Violet系の淡色~やや濃色の各2~4種用いた。洗剤は、配合FBAにトリアジニルステルベン系FBAのJIS-K-3371 (指標洗剤配合用) と、さらにビスステルベン系のUvitex 3257を配合した洗剤も加え、FBA未配合洗剤を対照として、濃度0.15%, 温度25, 40℃, 時間10分で恒温振とう機により洗浄をくり返した。洗浄前後の染色布への影響を島津カラーパックシステムにより、分光反射率曲線、CIE系のL.a.b. 値及び色差 ΔE を中心にD65を光源として検討した。

結果 綿100%, 1%混紡の淡色染色布と同様に、キュプラ100%布でも淡色ほど、分光反射率曲線420~440nm付近にFBAの影響が強くあらわれる。また、FBA2種のうち、JIS指標配合洗剤用FBAより、ビスステルベン系のUvitex 3257を配合した洗剤による洗浄の方が影響が大きく表われた。これらの結果からセルロース系繊維を含む淡色染色布の洗浄には、微妙な色調変化への配慮からFBA未配合のものを使用する事が望ましい。